

2 事前調査の方法

2-3 現状調査(寒冷地域)

2) 外壁通気構法調査

① 外壁通気構法調査の目的・調査法・対策

<土台部>

外壁通気構法による通気口があるか

目 的：外壁通気構法による通気口・排水口の確認。

調査法：目視。土台水切とサイディング下端の隙間、または土台水切の下にある通気口を確認。

対 策：外壁通気構法にすることが必要です。

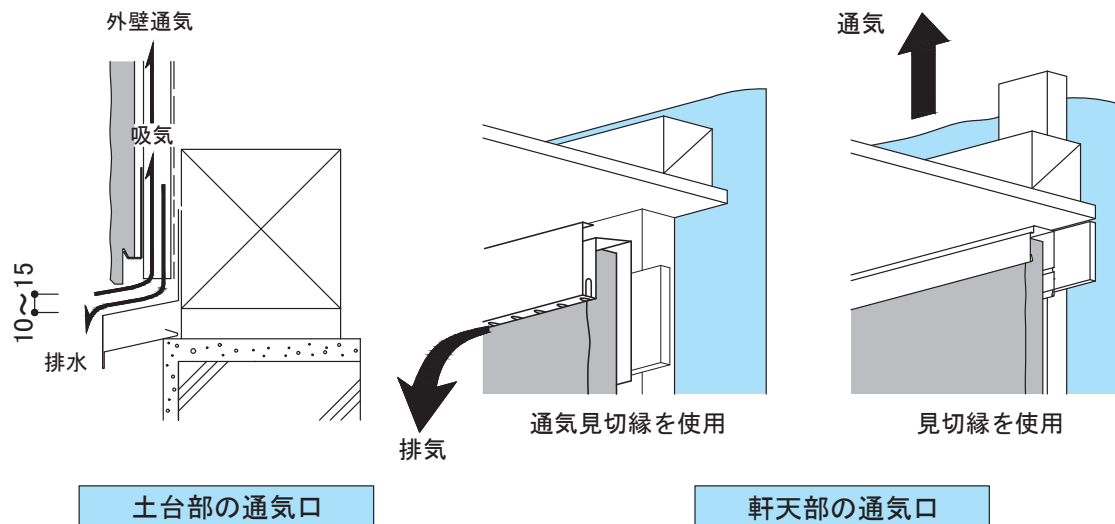
<軒天部または小屋裏部>

外壁通気構法による通気口があるか

目 的：外壁通気構法による通気の確認。

調査法：目視。軒天部に通気見切縁があるか、軒天有孔ボードが使用されているか、小屋裏部に換気口があるかを確認。

対 策：外壁通気構法にすることが必要です。



【特記注意事項】

※積雪により、土台部の通気口がふさがれていないか確認してください。

※開口部まわりに凍害がある時は、外壁通気構法がとられていない可能性があります。

② 判定の目安

● 外壁通気構法が正しくとられています。

- ・上記<土台部>および<軒天部または小屋裏部>の調査結果が、共に通気口があると確認できた場合。

● 外壁通気構法がとられているか不明確です。

- ・通気口が確認できても、開口部まわりに凍害がある場合。
- ・通気口が一部しか確認できなかった場合。

● 外壁通気構法がとられていません。

- ・通気口がふさがれていた場合。
- ・既存壁がモルタルの場合。